

たつのまち  
**議会**  
だより No.95



Center of Japan  
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中  
信州辰野町

令和6年9月定例会開催  
令和5年度決算認定

定例会・臨時会報告  
委員会レポート  
一般質問  
町民の声

2  
4  
9  
16



辰野町議会  
ホームページ



辰野町議会  
Facebook

## 7月臨時会・9月定例会



第4回 7月18日 令和6年度一般会計補正予算（第5号）水の恵みを未来へつなぐ交付金  
令和6年度一般会計補正予算（第6号）定額減税補足給付金  
財産の取得について（除草ロボット6台取得）

第5回 9月2日～9月20日 決算・補正予算等 26 議案、1 報告他

## 令和5年度決算

## 決算概要

(千円単位は四捨五入)

区分	歳入総額	歳出総額	形式収支
一般会計	101億 821万円	95億 6,947万円	5億 3,874万円
特別会計	78億 2,532万円	77億 2,953万円	9,579万円
合計	179億 3,353万円	172億 9,900万円	6億 3,453万円

※特別会計のうち上水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は、収益的収支額（税抜き）を集計。

## 一般会計歳出に関する主な質疑

(特別会計は、各常任委員会のページをご覧ください。)

## ■総務費

問 たつのパークホテルの総利用者数と売上高は前年度からどのように変化したか。

答 総利用者数は前年度比 7,029 人減少し、売上高は 1 億 6,939 万円から 1 億 5,179 万円に減少した。日帰り宴会の利用者数は増加したが宿泊、レストラン、日帰り温泉の利用者数は減少した。

## ■民生費

問 備品購入費で電気自動車とあるが、どのように使用されているのか。

答 従来使用していた公用車一台廃車に伴い購入したもので、町の脱炭素、ゼロカーボンの取り組みの一環である。

## ■衛生費

問 新型コロナワクチン接種体制確保事業、移動支援委託料の利用人数は。

答 ワクチン接種の会場への移動で 653 人の利用。

問 出産子育て応援金 152 件の内訳は。

答 妊娠時に 68 件、出産時に 84 件であった。

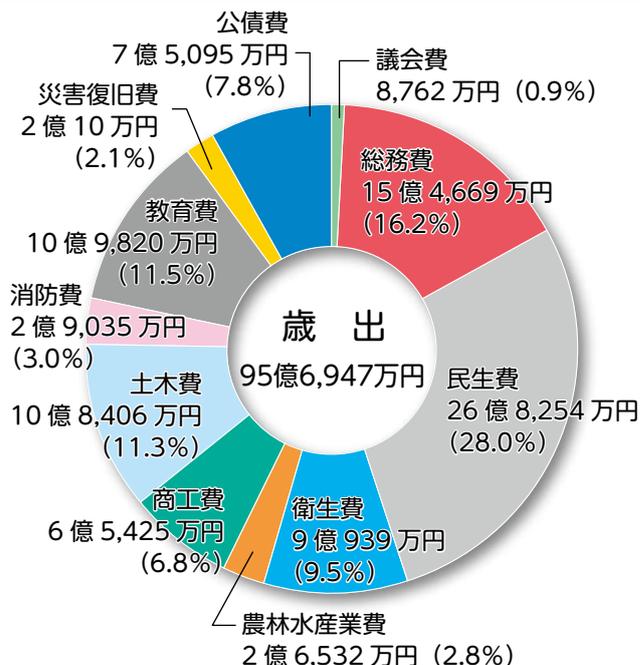
## ■農林水産業費

問 かやぶきの館の経営状況は。

答 目標宿泊客数は達成しているが、キャンピングカー利用客も含めた人数であるので実質は下回っている。立地条件の悪さと物価高騰の影響もあり経営は厳しいが、指定管理者は経費削減に努め、サービス向上に取り組んでいる。

## 一般会計歳出目的別内訳

(千円単位四捨五入のため、合計は一致しません)



## ■土木費

問 道路新設改良費と道路舗装費は区からの要望に対し何路線の工事を行ったのか。

答 道路新設改良費は区からの要望数 32 路線中 13 路線、道路舗装費は区からの要望数 46 路線中 13 路線を実施した。

## ■教育費

問 学童クラブ運営委員報酬 6 人、会計年度職員報酬 17 人とあるが支援員は足りているのか。

答 学童 40 人に対し資格者と補助員等で 2 名という基準で支援員を用意しているが、学童の登録者数が年度途中にも増加していて、現状確保が厳しい状況にある。

## その他の主な議案

その他議案（要約）	主な内容
令和6年度 一般会計補正予算（第7号）	サーバー室、湯にいくセンター空調設備更新 1,510万円
令和6年度 一般会計補正予算（第8号）	庁舎の空調設備更新・防水耐水工事、新型コロナワクチン接種委託費、図書館照明LED化工事他 2億2,637万円
公園施設長寿命化対策工事請負契約	荒神山公園町民体育館（建築）工事請負契約 5,643万円
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	人権擁護委員に小澤久美氏推薦（任期3年）
辰野町教育委員会委員の任命	教育委員会委員に垣内由香氏任命（任期4年）
調停の申し立てについて	町が発注した工事2件で、追加工事費用の請求を受けた。支払金額を確定するための民事調停の申し立てを行う。

受理番号	陳情審査 件名及び趣旨、提出者	本会議	意見書
陳情 第12号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 ・提出者：長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子	採択 賛成 13 反対 0	提出 あり
陳情 第13号	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書 ・提出者：中信地区私学助成推進協議会 会長 中野潤	不採択 賛成 6 反対 7	提出 なし
	【不採択に反対（高木）】公立高校と私立高校の学費負担の差が大きい。私立高校に通う子供たちが安心して学校生活を送れるよう、私立高校へのさらなる公費助成が必要である。 【不採択に賛成（栗林）】私立高校を自ら選んでいるので受益者負担はやむを得ない。町の財政にも限りがあり優先すべき事業が多々ある。長野県は学費に対する補助を複数実施している。		
	(陳情賛成) 古村、吉澤、向山、高木、小林、津谷 (陳情反対) 松澤、栗林、牛丸、小澤、樋口、林、本田		
陳情 第14号	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書 ・提出者：長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫	不採択 賛成 4 反対 9	提出 なし
	【不採択に反対（吉澤）】町民の多くが、現行の保険証の存続を求めている。任意としてきたマイナ保険証を強制するために、今の保険証制度をなくすのは適切ではない。 【不採択に賛成（津谷）】医療DXを進め、より良い医療が受診でき、高額医療費など手続きの簡素化、事務負担軽減など、医療サービス環境を構築する事を目指し、移行を進めるべき。		
	(陳情賛成) 吉澤、向山、樋口、高木 (陳情反対) 古村、松澤、栗林、牛丸、小澤、林、本田、小林、津谷		
陳情 第15号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書 ・提出者：長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢裕夫、他5名	趣旨採択 賛成 13 反対 0	提出 なし

議案番号	議員提出議案	審議
発議 第1号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書の提出について [提出先] 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣 (発議賛成) 古村、松澤、栗林、吉澤、牛丸、小澤、向山、樋口、高木、林、本田、小林、津谷	可決



# 総務産業常任委員会

事業会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月11日・12日・13日に町長・担当課職員出席の下で審査し、13日に現場審査を行いました。

## 決算審査

辰野町一般会計歳入全部と歳出のうち議会費、総務費、衛生費（水道費）、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、予備費  
 ※3か所の現場審査を実施したところ問題は無く、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

**辰野町上水道事業会計決算**  
 管渠（かんきょ）工事は、横川踏切付近軌道下横断管路工事。老朽施設の更新工事は兔洞導水管布設替及び浄水施設改良工事ほか8件。  
 ・収入総額 3億9,942万3千円  
 ・支出総額 3億7,299万円  
 ・収支差額 2,643万3千円の黒字決算

**辰野町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分**  
 未処分利益剰余金7,293万2,116円のうち、4,370万円を資本金に組み入れたいとするもの。

**辰野町下水道事業会計決算**  
 老朽施設の更新工事は新町4574ポンプ場No.1ポンプほか7か所のマンホールポンプの更新及び6か所の監視計の更新。  
 ・収入総額 8億7,982万6千円  
 ・支出総額 7億7,890万3千円  
 ・収支差額 1億92万3千円の黒字決算

**辰野町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分**  
 未処分利益剰余金1億92万3,088円を減債積立金に積み立てたいとするもの。



辰野水処理センター

**辰野町地域情報告知システム特別会計決算**  
 FOMA（ドコモ3G）サービス終了に伴い停波するまで、約1年6か月（2026年3月31日まで）。  
 ・歳入総額 1,549万2千円  
 ・歳出総額 1,351万5千円  
 ・差引金額 197万7千円の黒字決算

**問** 告知システムの代替手段の検討は進められたか。

**答** 防災情報の配信を中心に様々な手段を検討中。高齢者の安否確認機能の代替案として民間サービスの活用を含め模索。



もしものときの緊急通知機能

※特別会計決算の5議案は、採決の結果、全員一致で可決・認定すべきものと決しました。

## 条例審査

**辰野町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例**  
 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）の改正に伴い、行政手続等のオンライン化を推進するため条例の一部を改正したいとするもの。

※条例審査の1議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。



## 町長への要望

◆町民の多くが、たつのパークホテル及びかやぶきの館の運営状況に高い関心を示している。指定管理者制度を利用し運営している各施設において、施設の老朽化に伴う不具合が数多く発生している。特に宿泊を伴う施設においてボイラーやろ過機、電話交換機などの修繕が必要となり、営業に支障をきたす状況も見られる。対症療法的な対応ではなく、総合的な点検を実施し、年次計画を立てながら施設・設備の修繕を行い、利用者の期待に応えられるよう、効率的な予算編成と執行を求める。



たつのパークホテル



かやぶきの館

### 町長

たつのパークホテルは、平成5年8月に開業、本年31年目を迎え、かやぶきの館は平成10年10月に開業し26年目を迎えるが、それぞれ内外装や設備等の老朽化が年々顕著となっている。各施設について指定管理者から、日常の管理業務と設備等の定期点検に基づく複数の不具合箇所等の報告を受けて既に把握しているが、一度に改修することは困難なため、実施計画に計上し、お客様サービスに影響する等、緊急度の高い箇所から計画的に修繕・改修を進めることとしている。しかしながら、厳しい財政状況の中で実施を先送りせざるを得ない場合も生じており、改修、更新が間に合わず、故障して緊急対応となることも少なくない。さらに、機械設備の不具合は連鎖的に発生するケースも多く、部品提供が終了している場合は、当初見込みより大がかりな改修となることもある。引き続き、指定管理者とともに施設設備の定期点検、状態把握を行い、優先順位の高いものから計画的な修繕、改修を行うよう心がけていく。

## 塩尻市片丘の長野県林業総合センターで松くい虫被害について研修しました

9月定例会でも一般質問で複数の議員が取り上げている、松くい虫被害の発生メカニズムと対策、近隣の被害状況について学びました。

松枯れはコロナウイルスと同様の感染症です。マツノマダラカミキリが食べた木の傷から、1ミリ程度のマツノザイセンチュウ400頭が侵入すれば、4日後には増殖が始まり、1本のアカマツを枯らせてしまうそうです。1頭のマツノマダラカミキリに最大で24万頭のマツノザイセンチュウが確認されたこともあるそうです。

対策は、空中や地上からの予防散布、伐倒処理（くん蒸処理・破砕）、薬剤の樹幹注入。これら全てを実行してなんとか急速な拡大を抑えられている実例が提示されました。その他の対策として、アカマツ以外の樹種や、マツノザイセンチュウに対して耐性を持つアカマツへの樹種転換を提案していました。



マツノマダラカミキリ



被害木の発生状況を示したGoogleマップ



赤い部分が被害市町村

## 議会のDX化を検討・推進するため安曇野市議会で研修しました

先進地に学び課題を洗い出すべく、議員のDXプロジェクトメンバーを中心に、先進地安曇野市議会を訪れました。

安曇野市議会はペーパーレス化を主眼に検討・推進してきており、令和6年4月1日から議会の完全ペーパーレス化を達成しています。辰野町議会でも、今後検討をしていきます。

※DXプロジェクトは、議会のデジタル化を推進する組織です。



安曇野市議事堂



# 福祉教育常任委員会

事業会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月11日・12日・13日に教育長・担当課職員出席の下で審査し、13日に現場審査を行いました。

## 決算審査

### 辰野町一般会計歳出のうち民生費、衛生費（水道費を除く）、教育費

※ 4か所の現場審査を実施したところ問題はなく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

### 辰野町国民健康保険特別会計決算

被保険者数は年間平均 3,590 人、加入率 25.3%。歳入歳出差引 397 万円を翌年度に繰り越し。加入状況は、転出者 101 人を転入者 105 人が上回ったものの、町民の高齢化により後期高齢者医療保険への移行 304 人が顕著で、加入者の減少が大きい。国保基金からの繰り入れは 3,245 万円。

### 辰野町国民健康保険診療所特別会計決算

受診者数は、282 人で前年度比 16 人減。歳入歳出差引 122 万円を翌年度に繰り越し。



第一診療所



川島診療所

### 辰野町後期高齢者医療特別会計決算

後期高齢者医療保険は、75 歳以上の高齢者及び 65 歳以上で一定程度の障がいのある方が加入。被保険者数は、4,165 人で前年度比 79 人増。歳入歳出差引 165 万円を翌年度に繰り越し。

### 辰野町介護保険特別会計決算

介護保険サービスは、在宅サービス及び施設サービス合わせて 27,551 件の利用。歳入歳出差引 7,926 万円を翌年度に繰り越し。

**問** 包括的支援事業・生活支援体制整備事業の委託先と内容は。

**答** 委託先は辰野町社会福祉協議会。内容は、委託先と連携しながら地域福祉活動の活発化と人材発掘を進める事業。

### 辰野病院事業会計決算

新型コロナウイルス感染症患者の減少等により、外来・入院ともに患者数が大きく減少した。

- ・収益的収入 22 億 2,098 万円
- ・収益的支出 23 億 4,063 万円
- ・収支差引 1 億 1,965 万円の赤字決算

**問** 現在職員数が 150 名とあるが、病院規模に対する適正な職員数の基準はあるのか。

**答** 病棟の患者対看護師は 10 対 1 という基準はあり、現在若干多い状況。経営強化プランに基づくプロジェクトチームを立ち上げ、経営コンサルティング業者からの提案を待ちながら職員配置等を検討する。



※特別会計決算の 5 議案は、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

## 条例審査

辰野町国民健康保険条例の一部を改正する条例行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い条例の一部を改正するもので、12月2日以降、罰則規定の部分について改正するもの。

辰野町国民健康保険診療所設置条例を廃止する条例医師確保の困難、患者数の減少、施設の老朽化による経費の増加などを要因として、運営が困難となった国民健康保険診療所を廃止するもので、辰野町議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部を改正するもの。

※条例審査の 2 議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

## 陳情審査

## ■陳情第12号

政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書

## ◇趣旨

低賃金と過酷な労働環境で医療・介護現場では退職者が増加している。政府の責任で、賃上げと人員増を求めるもの。

## ○審査の主な意見

- ・賃上げをすることで人員を確保することは必要。
- ・人の定着が厳しい職場の現状が見えてくる。

※採決の結果、賛成6 反対0 で採択すべきものとし、意見書を提出することに決しました。

## ■陳情第13号

私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書

## ◇趣旨

私立高等学校へ通う生徒の保護者への直接補助の増額、教育施設の拡充並びに、国・県の関係者に対して就学支援金制度の拡充・私学助成の増額に関する意見書の提出を求めるもの。

## ○審査の主な意見

- ・中信地域に限定されたもので、賛成しかねる。
- ・昨年も意見書を挙げた経過もある。保護者の所得による授業料軽減補助金も拡充されている。
- ・私立高校は、選択をして進んでいる経過もある。教育設備機器補助の拡充を求めているが、公立学校も教育設備は不十分である。
- ・私立は経費負担が大きい。
- ・辰野町から通っている子どもの数も増えている。

※採決の結果、反対4 賛成2 で不採択すべきと決しました。

## ■陳情第14号

「現行の保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書

## ◇趣旨

高齢者の手続きが大変、情報漏洩が心配などの声がある。安心して医療を受けられるために、現行保険証の存続を求めるもの。

## ○審査の主な意見

- ・マイナ保険証の利用を進めていくことが重要。現行保険証廃止で大きな事務軽減につながる。
- ・現在使っているが不都合は感じていない。経過措置も用意されている。
- ・不安要素があり、残してほしいとの声がある。
- ・高齢者は暗証番号の取扱いは難しい。

※採決の結果、反対4 賛成2 で不採択すべきと決しました。

## ■陳情第15号

訪問看護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書

## ◇趣旨

訪問看護費は、在宅介護を支える上で欠かせない。基本報酬が引き下げられたことは、小規模事業者は経営難に陥る可能性もあり、在宅介護の基礎が崩壊になる恐れもある。

## ○審査の主な意見

- ・小さな事業所が閉鎖に追い込まれている。
- ・陳情内容全般には介護現場の厳しい状況が理解できるので、趣旨採択としたい。

※趣旨採択としたいという意見が出され、採決の結果、賛成6 反対0 で趣旨採択すべきと決しました。

## 町長への要望

## ◆子どもたちの笑顔と明るい未来の更なる拡充。

- ・学童クラブ等への支援人材において資格取得者と、未取得者の業務を分担制とした人材登用。
- ・町独自の資格取得支援事業創設を要望。

## 町長

支援員の資格は、放課後認定指導員認定資格研修を受講することで取得可能。資格がなくても一定年数従事すれば受講資格を得ることができるが、資格がない人を補助員として幅広く採用をしている。1支援所に2名以上の職員の配置が基準だが、支援員を1名置けば補助員1人で対応可としており、資格の有無による業務分担は現時点では考えていない。公費負担で支援員認定資格研修を受けていただくよう促していく。

## ◆町立辰野病院の黒字化に向けた強化プランの更なる推進。

- ・患者確保につながる病院のイメージアップ。
- ・内部体制の見直しの早期推進を要望する。

## 町長

患者確保に向けて新たに立ち上げたプロジェクトチームの提案や、患者満足度調査を参考に病院のイメージアップを図っていく。またホームページの見直しも行い、選ばれる病院を目指す。内部体制の見直しは、県の病院機能再編・連携強化支援事業を活用し、経営コンサルティング業者からの助言も得ながら病院機能再編へ取り組み、経営強化プランの達成を目指す。

現場審査

# 令和5年度はどんな事業を行ったの？

実施された主な事業箇所を審査し、いずれも認定すべきものと決しました。

## 総務産業常任委員会

耐震性貯水槽下新設工事  
(小野・下雨沢)  
1,036万2千円



橋梁補修工事伊良沢橋 (川島)  
1,723万7千円



令和3年8月12日から15日にかけての8月豪雨災害林道袋山線復旧工事(北大出) 3,561万8千円



## 福祉教育常任委員会

ほたるドーム  
照明 LED 化  
改修工事  
2,134万円



辰野東小学校  
第一体育館  
照明 LED 化  
改修工事  
812万9千円



小野介護予防  
センター  
照明 LED 化  
改修工事  
319万円



辰野東小学校  
第一体育館  
床改修工事  
465万3千円



学童保育の長期  
休暇中の昼食に  
宅配弁当の導入を

教育長

課題は多いが保護者会  
等で意見を聞きたい



高木  
智香  
議員



**要望** 学童保育利用家庭にアンケートを実施し、33家庭から回答を得た。そのうち27家庭が宅配弁当の導入を希望した。町でも意向調査の実施を。

学校長期休暇中の生活困窮家庭への食糧支援は

**課長** 昨年末、就学援助を受けている家庭に米の配布を行った。今年の年末も行う予定。

「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」  
を活用して学童支援員の処遇改善をする考えは

**課長** 令和4年から月額3%の処遇改善を実施。会計年度職員の昇給制度や研修での処遇改善の仕組みがない。この改善事業については該当しない。

布団がある日も保  
育園バス利用可能  
にする考えは

**課長** バスを利用する園児も少なくなり、昼寝布団を置く座席スペースも確保できるため対応する。



保育園バス

国民健康保険加入者のマイナ保険証利用は

**問** マイナ保険証の有効期限は。

**課長** 18歳以上は10年、18歳未満は5年毎更新が必要。カード搭載の電子証明は5年毎の更新。

**問** 「資格情報のお知らせ」とは。

**課長** 何らかの理由でマイナ保険証が使用できない時、医療機関等窓口で提示すると受診できるもの。

**問** 現行の国民健康保険証の代わりになる「資格確認書」の発行時期は。

**課長** 現行保険証は、令和7年7月末日が有効期限なので7月中旬頃発行予定。

**問** 辰野病院でのマイナ保険証の利用率は。病院事務長 今年6月は3%、7月は6%。

**問** 保険証等の心配が解消されるように、わかりやすい説明資料を作成する考えは。

**課長** マイナ保険証について正確な情報の周知が十分ではない。メリットとデメリットを含め、フローチャートの作成を考える。

**要望** マイナンバーカードやマイナ保険証の申請は任意であること等もあわせて説明を。

辰野町の  
農業振興の  
基本的な考えは

町長

地域ぐるみで  
町の農業を守る



林  
政美  
議員



辰野町での持続可能な農業の実現は可能か

**問** 辰野町農業の現状と課題並びに対応策は。

**町長** 高齢によって耕作を続けられない農家が急増している。農地や農業を維持していくため、所有者や農業者のみの問題にせず、地域で町の農業を守っていききたい。

**課長** 農業・農村の役割を町民の高い意識付けにより、農業を育み、発展させるよう努める。



収穫期を迎えた果樹園

有機農業の推進状況と今後の取り組みは

**課長** 有機農業の5年後を目指す目標に向かって着実に事業を展開している。課題は、推進情報の不足による町民理解の欠如か。

**問** 有機農業宣言の有機給食導入の方向性は。

**課長** 町内団体が町内産の安心安全な食材を給食に提供している。今後は、全小中学校への米の供給ができる体制の確立が課題になる。

**問** 地産地消での食の循環の仕組みづくりを。

**課長** 有機農産物や環境にやさしい農産物の供給体制を確立し、町民の関心の高まり等により、町内の地産地消は、促進される。

ゼロカーボンの取り組み状況は

**問** 二酸化炭素排出量削減の進捗状況と今後は。

**課長** 照明のLED化、太陽光発電設備の設置、町民や事業者向けの補助金の拡充、イベントによる普及や啓発に取り組んでいく。

辰野バイパス期成同盟会の進捗状況は

**課長** 8月28日期成同盟会総会が台風の接近により延期となり、進捗状況の報告ができなかった。国道153号線関連の課題は多い。11月5日に期成同盟会総会を開催し、報告する。

コロナウイルス発症状況と今後の対応は

**問** 最近の新型コロナウイルスの発症状況は。

**課長** 軽度な発症は、増加傾向。高齢者が多い。

**問** 高齢者へのコロナワクチン接種の無償化を。

**課長** 無償化は難しい。町で設定した自己負担額となる。

向山 光 議員



戦争遺物・証言の資料収集、保存を

**町長** 次世代に引き継ぐため収集・公開を検討する



戦争遺物の収集や公文書館の設置を

**問** 終戦から80年を迎える。体験者が少なくなり、大変高齢化している。戦争体験の保存や戦争遺物、証言の収集・保存・調査を進める必要がある。「草の根の語る私の戦争体験」のCDの作成を。

**課長** CD化は公民館運営審議会で検討したい。

**問** 公文書の収集・保存のため公文書館設置を。

**課長** 行政の施策の検証、住民の知る権利を保障する公文書公開は大切。公文書館のような施設設置に必要な委員会立ち上げの検討を始めている。



沢底に落とされた爆弾、東小学校児童の学び

森ビジョンの具体化と松くい虫対策を

**問** 森ビジョンを具体的にどのように進めるのか。

**課長** 森ビジョン推進会議を立ち上げ、進捗状況等を評価・検証し、随時必要な見直し等を行う。

**問** 森林経営管理をどのように進めていくのか。

**課長** 森林所有者への森林経営管理意向調査が完了し、施業の準備が整った所から進める。

**問** 松くい虫が発生した場合の対策について、意向調査にあわせて、事前に同意を得てはどうか。

**課長** 事前に同意を得るのは難しい。対策への協力を求める啓発の文書を送付したい。

女性支援新法の相談支援員、県レベルでの配置を

**課長** 女性相談支援員の役割は重要だが、町での配置は困難。県へ配置について要望している。

**問** DV等非常に切迫した事態もある。最初の対応が重要。自立までこぎつけられるように、寄り添った対応をするためにはマニュアルが必要では。

**課長** マニュアルを整備していきたい。

板沢最終処分場計画への町の対応は

**町長** 一刻も早い解決を望んでいる。全面解決、円満解決となるよう、引き続き取り組む。

古村 幹夫 議員



TTTの今後の展開をどのように考えているか

**町長** 状況次第でメンバーの増員も検討する



たつの助け隊 (TTT) この組織の位置づけ、また他の防災組織との関わりについてどのように考えるか

**町長** TTTは町の災害対策本部や地域の活動を補う形で、各地の情報収集や連絡等を行う役割を担う。自主防災組織などの既存組織と並行して活動する。

**問** チームに期待される役割はどのようなものか。

**町長** チームの役割は、災害時の情報収集と伝達、避難所の開設支援、メンバーの防災資質向上。今後は意見交換の機会を持ち本格活動を開始する予定。

**問** 隊員のケガなどに対する補償は。

**課長** 要綱で災害活動時の報酬を支払い、町消防団員等公務災害補償条例に基づく補償ができる制度とした。

**問** 移動系防災無線の更新計画は。

**課長** 現行システムは経年劣化が見られ、更新時期に差し掛かっている。IP無線など新しい方式の導入を検討中。

行政対象暴力への対応はどのようになっているか

**課長** 不当要求に該当すると思われる行為は、直近一年間で16件把握している。町としては不当要求には絶対に応じない方針。講習会を実施し職員の意識向上を図っている。事案によっては警察や顧問弁護士に相談する。

辰野病院における医療DXの取り組みと電子処方箋の導入計画は

**事務長** 令和7年2月に電子カルテのベンダー変更を予定しており、その際に電子処方箋導入も検討中。国の補助金活用も視野に入れている。

戦後80年の節目を迎えるにあたり、平和継承の取り組み計画は

**課長** 広報等で町内の慰霊碑や忠魂碑を紹介したり、満蒙開拓平和記念館とのイベント開催を企画する予定。



平和の願いを次世代に

再利用可能容器  
などでごみ削減の  
取り組み推進を



本田 光陽 議員

**町長**  
ごみ削減は  
脱炭素社会への課題

現在の辰野町でのごみ削減とエコロジーへの取り組みは

**町長** 辰野町ゼロカーボンアクション2023でゼロカーボンシティ宣言への署名を実施した。取り組みを今以上に加速させていかなければならない。

**課長** 生ごみ処理機およびコンポストの購入補助金を増額して実施し、各家庭への導入を促している。現在まで10件の申請で増加傾向にある。令和7年より製品プラスチックの資源化も実施予定で、分別の手引きなどの見直し作業中。ゼロカーボン推進室とも連携し、脱炭素社会を目指す。

ペットボトルごみ削減へ給水設備の充実を

**課長** マイボトルの利用推進によりプラスチック使用の削減は確実に推進すると考えている。自宅からの持参だけでなく中途での給水で熱中症への対策にもなる。今後、自由に給水できる設備が配置されればPRしていくことも検討したい。

公共施設への給水設備設置や、湧き水利用への可能性は

**課長** 湧水の飲み水としての利用は大腸菌などの検査を行っていないため推奨するのは難しい。

**課長** 公共施設への給水スポット配置にはぜひ取り組んでいきたいが、費用の面からもしばらく需要を見極めたい。当面の対応として、役場内にマイボトルの給水に使用できる水道の案内表示を設置した。



役場に設置された案内表示

熊出没情報の発信フローに関して、迅速かつ効果的に情報が町民へ届いているか

**課長** 熊情報の一報が入った時点で警察へ連絡し、まずは現地を確認している。その後すぐに関係区、教育委員会、猟友会へも連絡し、メール、LINE、ほたるネット、必要に応じて防災無線も活用しながら広報を行っている。

その他

- 自治体窓口DXの進捗状況、フロントヤード改革に伴う役場庁舎のデザインや機能について

ヤングケアラー  
啓発の取り組みは



津谷 彰 議員

**町長**  
ポスターとリーフレットを  
学校等に配布

災害対策の総点検は

**問** 災害備蓄品の更新や品質管理の状況は。

**課長** 現在、約5,700食の備蓄食料を備えている。使用期限を判別できるように保管し、以前に購入したのから防災勉強会や訓練の際にローリングストック方式で更新している。広域災害を想定すると十分な量を確保できていないと認識している。

**問** 企業団体等の災害時応援協定の状況は。

**課長** 現在35の団体企業と災害時の相互応援協定を結んでいる。随時協定を締結し、今年度は県の弁護士会と協定を結んだ。定期的な協議等を行い、各協定の満了日が設定されているが見直し確認も必要と認識している。

**問** 防災運動会や防災フェスの開催は。

**課長** 防災に関する知識を楽しく学んで身につける機会を設けていきたいと考える。消防団などの協力で、子育てイベントなどと同時開催する形で実施することを研究する。

ヤングケアラー支援の在り方は

**問** 当町における支援の状況と課題は。

**課長** 現在1件の支援。家族の世話をを行うことで子供に負荷がかかっているケース。課題は、実態把握、アンケート調査等によるアプローチも検討しているが、子供自身や家族が自覚しづらく支援ニーズが顕在化しにくい。適切な支援に繋げるには学校、他機関との連携が重要。

**問** 教育現場での対応は。

**教育長** ヤングケアラーと思われる事案が報告されている。学校では欠席の増加、居眠りなどの兆候から、ヤングケアラーの視点で児童生徒を見守っている。事案があれば教育委員会に報告が上がり、子育て応援課の保健師が家庭支援に入っている。児童相談所や学校も交えてチームで対応している。

**要望** 早急に、ヤングケアラーへの理解促進のための講演会や研修会の実施を。



子ども家庭庁の啓発ポスター

その他

- ヒアリングフレイル予防の推進
- マイナカードの普及と利用促進



小林  
テル子  
議員

学校給食の米を  
町内産減農薬米にし、  
地産地消の推進を

**町長**  
来年度に向け生産者と  
前向きに調整

**問** 学校給食の地元産食材の比率は。

**課長** 毎年6月と11月に調査を実施、令和5年度町内産約25%、令和6年度6月町内産約20%。

**要望** 学校給食の地産地消、有機農業推進のために、推進協議会を町主導で進めて。



実りの秋 川島の稲田

#### 松枯れ対策の進行状況は

**問** 新町区内の松枯れ進行が顕著だが6月以降3カ月間の伐採状況は。

**課長** 37本を伐採。見つけたら速やかに伐採。

**問** 今後の対応は「松くい虫対策協議会」で決定と地区で説明を受けたが、会議は開催されたか。

**課長** 10月18日に開催する。

**問** 対策は緊急性を要するが、現状考えられる対応は。

**課長** 地区説明会を実施し、速やかな対応が必要と判断。被害指定市町村の指定を申請し、国の補助金を受け早期に樹種転換を図っていく様進める。松くい虫対策協議会で承認を受ける。

**要望** これ以上広げないために速やかな対応を。

#### 岡谷ジャンクション工事による国道153号渋滞発生は

**問** 5月より開始の岡谷ジャンクション工事で国道153号の渋滞発生激化状況を把握しているか。

**町長** 通勤時間帯の渋滞が酷くなっていることは承知している。国道153号の重要性を認識している。

**問** さらに国道153号新町区内の路面の傷みがひどく危険。災害時にはさらにリスクが高まる。緊急性があり改修をお願いしているが町としてどう対応していく考えか。

**課長** 路面の傷みの状況は、伊那建設事務所も承知している。町からも強く改良要望していく。

#### ほたる童謡公園のトイレ改修を

**問** 「ほたる祭り」は町の最大イベント。祭りに来た方をがっかりさせないトイレに改修する考えは。

**課長** 童謡公園トイレ2カ所は、平成15年と平成8年竣工で老朽化している。トイレは大事な観光資源と承知している。改修に向け検討する。



樋口  
博美  
議員

西小学校信号機を  
歩車分離式へ

**町長**  
待ち時間が長く生活道路への  
流入懸念。町は考えていない

**課長** 信号機の設置管理は県の公安委員会の管轄。通勤等で急いでいる車もあり、渋滞を招くことで危険も生じる。

**要望** 車優先でなく、子どもの安全を最優先に考え、西小学校信号機の歩車分離式への移行を要望。



西小学校交差点

#### 蛇石キャンプ場の環境整備は

**問** 横川川に洗剤が流れる事例があるが。

**課長** ゴミの管理、沢での洗い物禁止、洗剤使用の禁止など啓発していく。

**問** 看板の設置は出来ないか。

**課長** ネットなどを利用して、マナー向上を周知する。看板設置は過度になると雰囲気壊す。

**要望** 看板設置を要望する。

#### クーリングシェルター設置は

**課長** 町民向けにクールシェアスポットの設置を前向きに検討する。

**要望** 各公民館の開放を要望する。

#### なぜ枯れた松を早期に切れないのか

**課長** 所有者の同意が必要であり、様々な都合で時間がかかる。

**問** 地域連携で伐採できないか。

**課長** 傷害保険など問題がある。地域の団体で保険等構築できるのであれば可能。

#### 児童発達支援センター整備の考えは

**課長** センターの役割は障がい児や家族への相談、事業所への助言、援助など。地域の中核的療育施設。事業所の役割は障がい児、家族への支援を行う身近な療育の場。現時点では具体的な計画は無いが、事業所が出来たことにより、通いやすく利用しやすい環境が整いつつある。

**問** 事業所への関わりと支援の考えは。

**課長** サービスを提供している各事業所との連携は、支援会議等を通じて協力している。補助金は現在無いが、どんな補助が出来るか聞き取りをしながら研究していく。

公共施設の維持管理コスト削減と有効活用の管理計画は



栗林俊彦 議員

町長

必要なサービス水準を確保し適正化を図る

**問** ネーミングライツ・パートナーの取り組みは。  
**課長** 安定的な財源の確保や維持可能な施設の運営につながる。導入に当たっては、施設の性質や設置の目的などメリットを研究する必要がある。  
**問** 民間提案制度による公共施設再生の考えは。  
**課長** 特に大規模な修繕が不要で安全性が高い施設については、公募型のプロポーザルや民間提案制度による PPP、PFIなどを考えている。

日本の中心スポットと周辺環境整備は

**課長** 未来会議から発生したプロジェクトは活動が大きく展開している。日本中心のゼロポイントを守る会、日本の中心を美しくする会による大城山スポットの整備を進める活動を応援していく。  
**問** 大城山山頂に向かう未舗装道路の整備計画は。  
**課長** 全面舗装の検討を行ったが、のり面崩落や排水等の対策に莫大な費用がかかると見込まれ、安易に手をつけられない。現地に有効な工法と財源を研究するが、当面は従来どおりの方法で状況に応じて必要な整備を行い、通行の安全を確保する。

熱中症の救急搬送者数、熱中症予防と対策は

**課長** 令和4年6名、令和5年5名、令和6年は8月末までの数値で18名と急増加している。発生場所としては、自宅屋内12名、屋外での作業中などが5名、体育館での活動中1名である。  
**問** クーリングシェルター（暑熱避難施設）は。  
**課長** 以前からクールシェアスポット（涼みどころ）ということで開放して利用していただいた。9月からはクーリングシェルター指定施設として危険な暑さから身を守るための休憩場所をしっかりとPRする。民間施設については、現在利用可能な施設を募集している。



クーリングシェルター

**問** エアコン購入費等、熱中症対策の補助金は。  
**課長** 長野県では8月からの信州省エネ家電購入応援キャンペーンのメニューにエアコン購入費に対する補助がある。辰野町としても財源が確保できれば、ゼロカーボン推進補助金のメニューとして省エネ型エアコンの購入補助を考えている。

剪定木収集ヤード設置の再検討を



松澤千代子 議員

町長

近隣市町村の状況を研究しながら進めていく

**町長** 検証に十分な時間が取れていないが、割れ窓理論を基に住環境整備について、治安の良い安心なまちづくりのために、研究を続けていく。



片付けられない剪定木

**課長** 箕輪町のみどりの資源リサイクルステーションはマナー等の問題で、細かいルールや日時制限で運営しているが、かなりの費用も掛かっている。  
**問** ゼロカーボンの視点で剪定木のチップ化だけでも始められないか。  
**課長** 辰野町地球温暖化防止実行計画、未来につながる森ビジョン等、それぞれの担当部署とともに研究していく。

ボランティアセンターのWi-Fi設置は

**課長** 要望のあった3月以降より検討。多くの住民の利用があり災害時には災害ボランティアの拠点となる施設のため、通信手段の確保は重要と判断し設置を決定した。機器は発注済みで納品され次第設置し、使用可能となる。  
**問** 避難所や主要公民館だけでなく、茶の間等、住民の集まる施設には通信設備が必要では。  
**課長** すべてという訳にはいかないが茶の間も検討中である。また有事の際には通信衛星でのインターネット回線を考えており、想定した孤立地区でのWeb会議もデモ機を使い実施し、30分程度でセットできることも確認した。

おためし移住募集について移住希望者への説明は

**課長** 移住セミナーは6回、オンラインでは2回開き40人が受講された。おためし滞在を活用してオーナーさんから現実的な生活実態を説明していただいている。

中学生部活動の地域移行は

**教育長** 地域クラブ協議会の設置、コーディネーター役の導入、謝金や保障の問題と課題はあるが、中学生という時期にできることを、やらせてやりたい。

その他

- コロナ感染後の後遺症について

牛丸 圭也 議員



町新規災害強靱化事業で車載型蓄電池の果たす役割は

**町長**  
移動可能な非常用電源としても活用する

地域レジリエンス・ソーラーシステム賃借事業は

**町長** 地域レジリエンスとは災害に対する強靱化。目標に掲げた CO<sub>2</sub> 削減達成と、災害時の防災拠点である役場庁舎等への電力確保を両立するための事業。

**問** 車載型蓄電池を選択した理由は。

**課長** 蓄電容量に対する費用対効果が高いことと維持管理や買い替えが容易なこと。平常時は公用車として利用、災害時は移動式蓄電池として各避難所に出向き電力の供給も可能。防災訓練の避難所設営で給電を実施したこともある。

町営バス飯沼線の見直しは

**課長** 座談会やアンケート調査の結果を反映させた予約型デマンドバスの実証実験を行う。朝夕の定時・定路線は維持し、9時から13時は予約制で運行。愛称を公募し決定済み、新たにラッピングをする。

**問** 一便あたりの目標平均利用者数は。

**課長** 国の補助制度活用が不可欠なため2人以上を確保したい。

**問** 実証実験後はどうなるか。

**課長** 結果が良ければ本格運行だが、実証実験の延長や運行方式の見直し、従来運行便の減便なども考えられる。



おのりーな号

両小野バイパスの現状は

**問** 調査費が付いたとはどういうことか。

**課長** 国予算での事業化に向けた調査をするため、県の予算が付いたという状況である。

**問** 調査費とは何に使用する予算か。

**町長** 道路計画上の課題抽出や地域住民の合意形成へ向けた基礎資料作成費と認識している。

**問** ルート案策定までの展望は。

**町長** 調査費が付いたのは進歩だが、まだ道のりは遠い。今後、これまでの検討内容を踏まえた複数のルート案を県で検討する予定。町も両野バイパスの早期事業化に向け、塩尻市と連携し、引き続き県へ要望していきたい。

小澤 睦美 議員



統合される川島小学校の閉校後の学校施設管理は

**教育長**  
後利用が決まるまでは町教育委員会が行なう

**問** 閉校後の後利用について、地元との検討委員会の進捗状況は。

**課長** 今までの地元との協議の中で、町の検討委員会事務局として、後利用の提言書策定に向けて、側面からの対応を考えている。



統合・閉校となる川島小学校

台湾埔里鎮との更なる交流に向けて

**問** 産業面、観光面からも国際姉妹都市提携に向けて早期の町長と埔里鎮長との会談は出来ないか。

**町長** 8月に埔里鎮の訪問団が来町し、更なる交流が期待される。これからの交流の様子を今は見守りながら具体的な期日を定めず、将来、訪問の機会を考えたい。

横川溪谷の保護と有効活用を

**問** 三級の滝までの原生林トレッキングコースの復旧状況と開通時期は。

**課長** 開通はしていない。開通後、町としては、現地を確認しながら、コース整備を検討する。

**問** 横川溪谷全体を自然公園に指定し、自然公園法に言うところの優れた自然環境の保護と快適な利用促進を図る考えは。

**課長** 自然公園は、国定公園と県立公園があるが、指定されるためには、それぞれ面積等基準がある。県とも相談しながら引き続き研究していきたい。

**問** 町天然記念物に指定されている樹木が古木となり枝など落下する危険があるが、管理は。

**課長** 教育委員会に、相談をいただきたい。

有機農業推進に当たり有機給食の仕組み作りは

**問** 学校給食のために、生産、加工、流通、消費をスムーズに行う為の組織はあるか。

**課長** 学校給食に食材を提供する会から仕入れている。会とは献立等検討している。今後は地域ぐるみの仕組み作りが必要と思っている。

町の独自予算で  
有害鳥獣対策強化を



吉澤 光雄  
議員

町長

国の支援が確認できた  
補助拡充を検討する

**問** 熊出没情報が増え、旧保育園や区集会所の近くなどにも及び、人身被害も起きかねない。出没場所を地図で示し、「注意報」を出しては。

**課長** その都度情報発信し、注意喚起の旗も立てた。猟友会などとも連携し、対策に当たっている。

**要望** 猿の被害もこの5年間で2倍だ。地域で組織的な対応を継続できるように町の財政面、技術面の支援強化が必要だ。指摘して確認された国の交付税措置を生かし、支援を強めて欲しい。

夏に遊べるプールの確保を

**問** 夏休みの学校プール開放は小学校1校だけで4日間のみ。暑い夏に町内でプール遊びが出来ない。監視員を町が雇うなどの支援を行い、学校プールの夏休み開放を増やせないか。

**教育長** 熱中症対策で開放を止めている。積極的に開放を求める気持ちにはなれない。

**問** 学校プールの老朽化と、1校1～2億円かかるという改修費用が課題だ。ウォーターパークの一部を猛暑に対応したプールに改修し、水泳授業にも使うよう検討できないか。事業費や維持管理は、小中学校4つのプールを直すよりはるかに安く済む。夏休みに親子や高校生、大人も遊べる。事業費などを概算して、検討すべきでは。



荒神山 25m プールなど

**教育長** 私も議会で1案として述べたことがある。ウォーターパーク跡地等検討委員会でも当初プール利用の意見があったが、議論の結果防災広場の方向に。これを無には出来ない。

**要望** 防災広場の一角にプールはあり得るのでは。プールを残す最後の機会だ。判断に必要な情報を示して欲しい。

有機学校給食は

**問** 上伊那4市町村では、町村内の低農薬米を学校給食にかなり使っている。町でも来年度から学校給食に町内産の「有機」米を使用できないか。

**課長** 準備が整い次第、導入を図って行きたい。

議会インフォメーション

ほたるの里中学生議会2024開催!

中学生議会在10月31日に辰野町役場で開催されました。辰野・両小野中学校の3年生10人が議場で一般質問を行いました。町への疑問や、日常生活からの要望や提案を町理事者に質問しました。中学生の視点で身近な問題を提言した中学生議会でした。詳しくは議会だよりNo.96へ掲載します。お楽しみに。



昨年の中学生議会の様子

辰野町議会主催  
町民と議員のタウンミーティング開催予定

議員全員でお伺いし地域の課題などを懇談いたします。

**川島区** 11月7日(木)午後7時～  
会場:下横川宮農総合センター

**今村区** 11月11日(月)午後6時～  
会場:今村介護予防センター「徳水館」



タウンミーティング開始前の会場

新聞などでも告知いたします。詳細は町HP内の辰野町議会にて掲載いたします。



桑澤 祐毬さん

僕の家では先日役場へ行って防災リュックを買いました。充電バッテリーが入っていてよかったです(ラジオはイマイチ)。これでリュックは3つになり、それぞれのリュックに色々な防災用品を入れて災害に備えています。



五味 愛さん

私達の予想を上回る自然災害が起こることも稀ではないと思います。いつ起こるか分からない災害に備え、避難場所を確認し、防災リュックの中身を入れ替えています。また、防災に関して家族で話すなど気持ちの備えも大切だなと感じています。

瀧川 立昭・和恵子・依菜さん



昔から地震・雷・火事・親父とよく言われてきました。昨今では、親父はすっかり影をひそめ気候変動にともない水害が入ると思います。幸い、我が家の中心となる所は鉄筋コンクリートで、家具は鎖で転倒防止をしています。

古田 雅彦さん



議員が町に出て聞きました

## 町民の声

### テーマ 我が家の防災について

全国で自然災害が発生しています。各御家庭の災害への備えは大丈夫ですか。

三村 善秀・宏美さん



我が家は愛犬2匹を含めた家族です。災害時の避難所に犬は一緒に行けるのか不安になる事がありますが、避難が必要になった時は周りに迷惑をかけず安全に一緒に居られるよう普段から準備をしています。

近年相次いでいる地震や豪雨などの自然災害に備えるため、日頃から防災用品の準備や避難経路を確認し、家族で防災計画を話し合うなど防災意識を高め、いつでも冷静に行動できるよう心がけたいと思います。

これからもみんなの声を聞きにいこう



辰野町イメージキャラクター ぴっかちゃん

## 次回定例会のご案内 12月定例会予定

開 会	12月 2日(月)
一般質問	12月 9日(月)・10日(火)
委員会審査	12月 11日(水)・12日(木)
閉 会	12月 18日(水)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

YouTubeと役場町民ホールで、一般質問のライブ配信を予定しています。

## 編集後記

今年も暑い夏を過ぎて、季節は駆け足で過ぎてゆきます。皆さんの元に届くのは11月。実り多い季節でありますように。議会広報編集委員 樋口博美

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。